

私と環境デザイン

学術博士 女子美術大学名誉教授 日本デザイン学会名誉会員

中 嶋 猛 夫

デザイン概略 変遷史	17世紀	18世紀	19世紀	20世紀	21世紀
	近世		近代		現代(環境)
社会制度	封建制 (王侯貴族) 多種分立制 [市民革命]		民主・資本主義 (国民・国家) 大規模一極集中制		(市民・地域住民) 小規模自立分散 network 制
生産制	徒弟制 手工業 [産業革命]		機械工業化 少品種大量生産		[IT&AI革命] 多品種少量生産 個別対応生産
造形価値 Good Design	華麗装飾		装飾排除(単純化) Simple is Best		有機的形狀 Healthy & Natural
繁栄国	フランス → 英国 → 米国 → 東アジア				
エネルギー	薪・炭		石炭	石油	クリーン・再生 エネルギー



「近世」のルネサンス、バロック、ロココ



「近代」の蒸気機関、ガソリン車、大都市、モダン建築、デザイン



「21世紀」エコ建築・都市

オリンピックや万博、大都市などは大規模一極集中型の
近代社会システムの典型で、合理的、経済的とされ
世界中に普及しましたが、20世紀後半には様々な問題が出ました。
21世紀は小規模自立分散ネットワーク型の社会システムが必要です。

デザイン学会功労賞を授与され (EDplase 86)

40年以上の学会活動と10年間の学会理事就任などによる評価で功労賞を頂いたと理解しています。その間環境デザイン部会活動で多くの学会員のご協力に感謝いたします。昭和42年にカーデザイナーに憧れて東京芸術大学の美術学部工芸科に入学し、GKデザインで大阪万博のストリートファニチャーの模型作りのバイト等をしていましたが、その当時は日本の公害が酷くデザインの善し悪しの基準が判らず工業デザインに疑問を感じ悩んでいました。夏休みには台湾を初めインドや北米からメキシコなどを旅行し見聞を広め、日本の自然や文化の素晴らしさを再発見して、昭和47年に工業デザイン専攻を卒業して京都の植藤造園に就職し修学院離宮や桂離宮等の庭園や公園の仕事に携わりました。オイルショックなども起こり資源や自然の大切さが見直され、昭和52年に東京芸術大学の大学院、美術研究科に入学して環境デザインを学び学会と関わり始め、修士課程では日本の宗教空間、寺社境内が公園的役割を担っていた事を基本に「東京の鎮守社の境内構成研究」を行いつつ外部環境デザインの実務を続けました。昭和55年博士課程に進み「山岳寺院境内構成の類似性(奈良、室生寺と鳥取、三仏寺境比較)研究」をデザイン学会に発表し、環境部会に属して活動して来ました。昭和60年博士論文「日本の山岳寺院神社の境内構成研究(空間構成と景観)」を発表して学術博士号を授与され、女子美術大学の環境デザイン専攻の助教授に就任しました。平成7年(1995)1月17日に「阪神淡路大震災」が起き、環境部会の企画担当でしたので急遽大震災をテーマに宝塚造形大学でシンポジウムを開催し、その成果を特集号「生活環境のデザインと安全性」を発刊し災害というテーマが部会の主要テーマ軸になりました。その後も「東日本大震災」や西日本各地の水害や地震による北海道や直近の台風による千葉のブラックアウトなどがあり日本は「災害列島」と言えるでしょう。環境デザイン部会の皆様の益々のご活躍が期待されます。またこの様な機会を頂き誠にありがとうございました。

略 歴 / PROFILE

1947年	東京 生
1972年	東京芸術大学 美術学部 工業デザイン専攻 卒業
1972年～75年	京都、植藤造園 就職 (桂、修学院離宮ほか各種造園実務修行)
1975年～	中嶋環境設計 設立 (様々なデザイン分野の計画、設計実務を行う)
1977年～85年	東京芸術大学 大学院美術研究科 博士課程 環境デザイン専攻 修了 (修士修了作品:「東京主要10神社の境内活性化構想」) (学術博士:学位論文[日本の山岳寺院、神社の境内構成研究(景観論)])
1986年～02年	東京芸術大学 美術学部 デザイン科 非常勤講師
1990年	女子美術大学 芸術学部 助教授
2000年～14年	同上 芸術学部 及び 大学院 教授

環境デザイン部会 主査 (EDplase100)

1. 経歴

女子美術大学名誉教授、学術博士。日本デザイン学会名誉会員、功労賞受賞。1972年東京芸術大学美術学部ID卒業。1972～1975年京都植藤造園伝統庭園修行。1975～環境デザイン設計実務を続ける。1985年東京芸術大学大学院博士課程修了。1990～2014年女子美術大学専任教師。

2. ED部会発足当時

東京芸大の稲次先生、武蔵美の向井先生、筑波大の平先生などが活躍され、私も参加しました。私は既に学会員で大学院の博士課程を修了し芸大デザイン科の非常勤講師でした。主査の期間は二期で、2000～02年で30～35号と2006～08年の48～53号を発行。ED部会発足当時より幹事に名を連ねて来ましたが1995年に「阪神淡路大震災」が起きて、当時企画担当でしたので急遽大震災をテーマに現地調査とシンポジウムを開催しそれらを学会特集号に纏めて、それ以降、日本は災害多発国で震災や災害がED部会の主要テーマの一つに成りました。

3. ED部会とプレイスに関して

昨今は若い世代の部会員が少なく、会員の高齢化が進んでいます。その原因の一つに考えられるのは、若いデザイナーや研究者にとって興味ある内容が足りないのではないかと思います。それは「21世紀の環境デザインとは何か?」が問われ、議論が活性化する事が無いからではないでしょうか。

4. 21世紀のデザインとは

デザインは時代のニーズに反映され変化して来ました。近代オリンピックや万国博、近代的大都市などで代表される近代社会システムは「大規模一極集中型」で合理的、経済的とされ、その反映としての近代デザインと伴に世界中に普及しましたが、20世紀末には様々なマイナス点が顕著になりました。21世紀の社会システムは「小規模自立分散ネットワーク型」に変換される事が求められていて、21世紀の環境デザインも根本的論議が必要です。

受賞歴

1984年	『永久保存作品』:「ノリタケ、KOCHIシリーズ」
1993年	『緑のデザイン大賞(建設大臣賞)』: 「浅草オレンジ通り植栽設計」
1999年	『グッドデザイン賞(パブリックユース部門)』: 「防災用多機能タワー」

中嶋猛夫

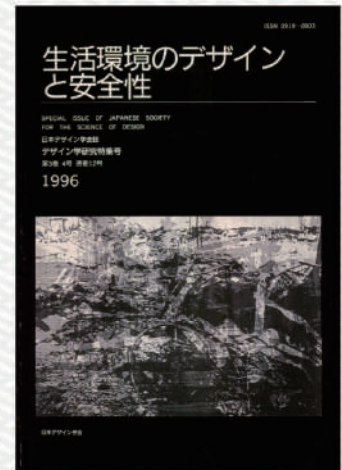
takeo-nakajima.com

元 文部科学省 大学設置・学校法人審議会 専門委員
元 独立行政法人 大学評価・学位授与機構 専門委員
元 日本デザイン学会 理事





1995年1月17日早朝に震度7の阪神淡路大震災が発生し、大都市の神戸は壊滅的被害と成りました。この報道に接し、当時のED部会の企画委員でした私は急遽この年の部会テーマを「災害」とし、在阪部会員の協力を得て、現地視察とシンポジウムを開催し、それらを纏めてデザイン学会特集号「生活環境のデザインと安全性」を出版しました。以来、ED部会において「災害」がメインテーマと成りました。



コミュニティの安心安全のシンボル 自立型防災用多機能タワー

'99「グッドデザイン賞(パブリックユース部門)」

どこの町でもある交差点の見透しの良い広場に防犯防災タワーを設置し、地域の人たちの「安心、安全」を担うコミュニティスペースとタワーはシンボルとなる。

平時は時間を知らせる時計塔、夜は照明で街角を照らし、地域の防犯に役たち。

災害時にはサイレンや防災センターからの情報や地域FM放送を聞くことが出来、本体内部には非常用医薬品や食料も備蓄できる。地下水槽がある場合は非常用の飲料や消火用にも利用できる。CCDカメラを設置しておけば、平時は防犯用とし非常時は防災センターとの情報交換が可能になり、複数設置することにより広域の防犯防災ネットワークが構築される。



私のデザインした防災タワーが
デザイン学会作品集に採択

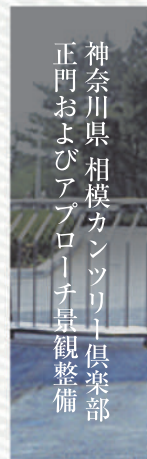
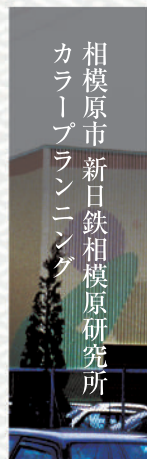
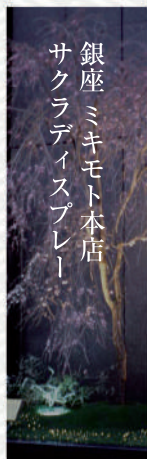


パブリックユース部門で
Gooddesign受賞

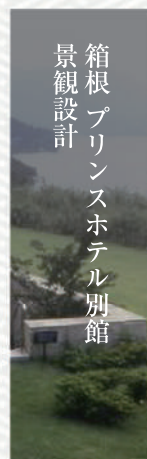
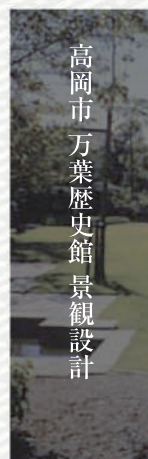


文部科学省の高校教科書『デザイン史』に掲載

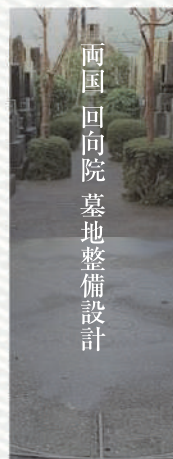
環境デザイン



景観設計(造園設計)



宗教境内整備



学 術・授 業 / ACADEMIC



宗 教 空 間 研 究 / RELIGIOUS ENVIRONMENT



海 外 調 査 報 告 / OVERSEAS RESEARCH REPORT



世界のエコ、環境施設調査

欧州 4 事例



米国 4 事例



世界の庭園都市

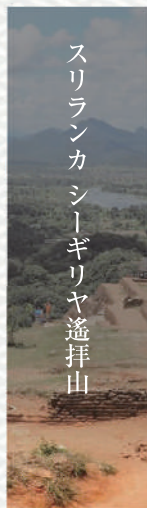
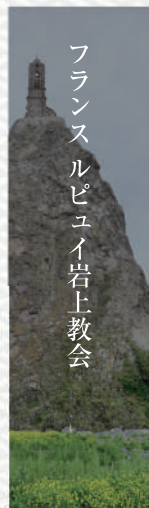
欧州 4 事例



アジア 4 例



世界の遙拝山と巨岩の宗教空間



A large crowd of people, including children and adults, are walking through a traditional Japanese torii gate. The gate is made of dark wood and has a plaque hanging from it. In the background, a traditional Japanese shrine building with a tiled roof is visible. The scene is set outdoors with trees and a clear sky.

ネーチャールアート子供プロジェクト



相模原地域のお宝発見プロジェクト

東京緑化フェアー風車プロジェクト

A photograph showing three people from behind, looking out over a vast, lush green forest landscape. The person on the left is an older man with white hair, wearing a dark blue jacket with a white floral emblem on the back. The person in the middle is a man with dark hair, wearing a dark blue jacket. The person on the right is a woman with dark hair, wearing a light green jacket. They are standing on a wooden railing, looking out over a dense forest of green trees under a clear sky.

京都の清水寺にも遙拝山があり、寺の起源は山岳寺院である事が判った。BS朝日の京都ぶらり歴史探訪「清水寺物語 500年前の観光ガイド」は語る」に出演した。

女子美術大学

1990年～2012年まで芸術学部デザイン科の学生1,2年生約1800名、環境デザイン専攻3,4年生約600名に下記の授業で携わり、大学院生約30名を育てました。

相模原キャンパス(中央広場)景観変遷



AD1990

2012

授業作品紹介



1年授業「気になる街角」



2年授業「中庭」



3年授業「小公共空間の再設計」



4年授業「都市公園設計」



毎年の卒業生に送る言葉
志高く 夢多く 愛深き 豊かな人生を

<https://takeo-nakajima.com/main/movie/nakajima.mp4>
(右記QRコードから視聴可能)



中嶋猛夫の詳細はWikipedia、中嶋環境設計のホームページ(takeo-nakajima.com)で検索ください。